こんな　あそび　あるんでぇ

今月は『石積み』というあそびです。

一番古い記憶は小学生低学年の頃ですが、両親に確認すると「保育園に通っていた頃からやっていたよ」と言われたあそびです。石積みは河原に転がっている石を積み上げて数や高さを競います。すぐに倒れてしまわないよう、石と石の間に小石を挟んで支えたり、デコボコを見つけ出し接点にしたりと、こどもながらにどうにか倒れないように工夫していました。石積みの醍醐味は、自分の感覚を頼りに積み上げて、石が立った時の気持ち良さや満足感が病みつきになる所です。河原に出かけた際など、ぜひお子さんと競ってみてください。

原　愛結奈

そら組キャンプ

日程：７月７日（木）、８日（金）
場所：国立吉備青少年自然の家

心配した天気も初日は快晴で、アスレチックを思い切り楽しむことができました。キャンプファイヤー、二段ベッド、大きな風呂など、初めて経験することもあり、たくさんの思い出ができました。

…バナナ生長日記…

地に植えたバナナは次々とはっぱを出し、大きく育っています。もっと大きくなって実をつけるのが楽しみです。

※昨年の親株の実⇒

鉢のモンキーバナナも葉がたくさん出ていますが、伸びしろが今一つかなと不安を抱いています。何かご存じの方がおられましたらアドバイスを是非お願いします。

９月になったらパンジーの種まきをします。発芽に適した温度が２０℃前後です。昨年はたくさん発芽しました。一緒に蒔いてみませんか。

また、アサガオの苗を持ち帰られた方、状況を教えてください！

8月

１３(土)・１５(月)　合同保育
１８(木)　避難訓練
２６(金)　誕生会

9月

１(木)　１号始業式・プール納め
６(火)　青パト(交通指導)
８(木)　歯科検診
１２(月)　内科検診
１６(金)　誕生会
２１(水)　運動会予行練習
２２(木)　避難訓練

いちょうの森だより

令和４年８月１日　発行
いちょうの森こども園　園だより
桜が丘東３－３－４９６
TEL　086（956）2022
FAX　086（956）2023

いちょうの森こども園　園だより　No.６５

いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。
https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/

「毎日過ごす中で」

いちょうの森こども園に来て２年目になり、去年はほし組、今年度ははな組の担任となりました。私自身も去年とは全然違ったはな組担任ということに、期待と不安の気持ちが入り交ざっていました。入園当初のこどもたちは、初めて保護者の方と離れた園生活に涙が出ることも多く、寂しい気持ちでいっぱいだったことでしょう。今では、園生活や保育者にもすっかり慣れ、笑顔で過ごすことが増えてきました。

春から数か月間こどもたちと過ごしてきて、初めて涙が出ることなく笑顔で登園してきた日、歩くことができた時、コップをもってお茶が飲めるようになった時など、思い返せば一日一日変化をしていて、できることがたくさん増えています。歩行やハイハイができるようになった大きい成長から、笑顔を見せるようになったなどの小さな成長を見逃さず、こどもたちに「できたね」とできたことを認め、共に喜び合うことで、よろこびに繋げていけたらなと思います。また保護者の方々ともお子さんの姿や成長を共有し、喜び合いたいです。

はな組の一年というのは、初めての経験ばかりで、できることがたくさん増え、大きく成長する大切な時期だと思っています。そんな大切な時期を、こどもたちと一緒にワクワクドキドキしながら、新しい発見ができるような一年にしたいです。

西岡　美琴

冷たい氷の感触に目を丸くさせ、びっくりしていました。冷たくて気持ちいね。

夏の風物詩

そら組

休み明けのある朝、春に幼虫でもらって育てていたカブト虫が成虫になって出てきました。登園直後から見つけて大喜びのこどたち。さっそくケースから出して観察をしました。元気よく動く足に四苦八苦しながらも触って、確かめて、発見がいっぱいです。今年は園庭にクワガタ虫が飛んできていることも続いていて、虫が大好きなこどもたちには楽しい夏の訪れです。

ほし組

夏と言えば水あそびですが、さらに涼しく楽しむため氷を用意して遊びました。ヒヤッとする感覚がたまらないようで、なんども顔や身体につけては「つめたっ！」と友だち同士で笑い合っている様子が微笑ましいです。氷と色水を使ってジュースを作ったり、石鹸を削る用のおろし金で氷を削ったらかき氷になるか試したり、いろいろな方法で工夫しながら楽しみました。あっという間に溶けるので溶けない間にどれだけ楽しめるかこどもたちの“あそびのアイデア”に期待しています。

つき組

製作で花火を作りました。自分でちぎった折り紙を紙コップに貼り付けた後、ハサミを使い紙コップを切って開くと花火ができます。夏の七夕、天の川に合わせて部屋に飾ると花火が打ち上がりました。

作りながら「わたしこの色だけで作ってみよう」「花火きれいなんよな」と会話が弾んでいました。体験したことを話すことでこどもたちは更にイメージが広がって、「こんな風にしてみよう」「次はこんな風にしてみよう」とわくわく感が高まっていました。

にじ組

水あそびが楽しい時期です。その中でも色水あそびは特に喜んで遊んでいます。コップの中に赤色と青色を混ぜたり、赤色と黄色、青色と黄色など「混ぜたらどんな色になるかな？」と色の変化を楽しんでいます。きれいな色ができると「みて！」と嬉しそうに保育者に伝えています。

ゆき組

夏の花と言えば「ヒマワリ」です。ゆき組の花壇のヒマワリは植え替えた頃は、こどもたちの膝のあたりだったのですが太陽の光を浴びてぐんぐんと生長し、今では大人の背丈も遥かに超える位大きくなっています。そんなヒマワリを、こどもたちは水あそびをしている時でも気にしていて、バケツに水を汲んでは「みず、する」と水やりに励んでいます。花が咲き終わると種が採れる予定なので、こどもたちと採取してみようと思います。

はな組

はな組のこどもたちにとって、初めての水あそびが始まりました。最初は、慣れない水が怖くて涙が出てしまうこどももいましたが、水の心地よい冷たさを知ると笑顔を見せるようになりました。

自らタライの中に手を入れ水を触ったり、容器で水をすくったりと、終わるころには全身ズブぬれになるほど楽しんでいます。